

はくあいだより

【発行】社会福祉法人 高知慈善協会 児童養護施設 博愛園
【住所】〒782-0024 高知県香美市土佐山田町神通寺 375-1
【TEL】0887-53-2510 【FAX】0887-53-2628

【ホームページ】https://www.jizenkyokai.or.jp/hakuaien/hakuai_top.htm 【E-mail】hakuaien@jizenkyokai.or.jp



おばあちゃんの言葉

口の人になりなよ、心の人になりよ

皆様は「おばあちゃん」といえば誰を思いうかべるでしょうか。

児童福祉にたずさわる仕事などをされている方は、「岡上菊栄」を思いうかべる方もいると思います。

もちろん高知慈善協会では「おばあちゃん」=「岡上菊栄」です。

坂本龍馬の姉の坂本乙女は、土佐藩藩主山内家に仕えた八代目御典医の岡上樹庵(おかのうえじゅあん)と24歳のときに結婚し、岡上菊栄は樹庵・乙女夫妻の長女として1867年9月に高知市本町筋2丁目にあった岡上家で生まれました。



【岡上 菊栄】

菊栄の生涯は「おばあちゃんの一生」(宮地仁/著)にくわしく記されています。その書の序では、菊栄を以下の表現で記しています。

「社会事業の諸制度が今日の如く開花するまでに芽を育て幹をふとらした功労者」

菊栄が「おばあちゃん」となるきっかけは41歳の時でした。高知慈善協会が創設した「貧困児童および入監者携帯乳児の養育施設【博愛園】」の初代園母として、開設間もない明治43年から勤め始める事になりました。この転職(転職前は教員)を夫は強靱に反対しました。それは、子どもが仕事の犠牲になることや、園で理想通りにいかぬ場合の老後を心配してのことでした。

しかし菊栄は、貧困児救済という「大願成就のためには、たとえ家庭を犠牲にしても初志貫徹を」と燃えていました。以後の40年近く、菊栄は保護が必要な者に「ねぐら」を与え、「民間社会事業家」として一命を捧げ続けました。



「口の人になりなよ、心の人になりよ」

おばあちゃん(菊栄)は後任の武田紀に、「養育するものが外面だけのきれいいことばかりを並べても何の役にも立ちません。心の人、心で生きていく人におなりなさい。」と語っています。

その養育姿勢及び実践を少し紐解いてみると、子どもの欲求を自然に表出させることや、心身をありのままに真実として受けとめ、子どもに真正面から向き合いました、常に側で寄り添い自ら範を示しています。このような取り組みは現在の養育と比較しても何ら違和感がありません。おばあちゃんの子どもに対する愛情の深さと、命を守り抜く意志の強さは尊敬に値します。なかなか真似ができることではありませんが、後を引き継いだ私たち職員はその精神性を大切に、日々学ばねばと思っています。

各 部 の 職 員 と

目 標 の 紹 介

モーリーを さがせ!



どこかにモーリー(森崎職員)がいます。探してね😊

女子部



おねえちゃん、おかあさん、おばあちゃんとして!

幼児部



下手だけど、情操教育!

男子部



勉強、遊び、何でも全力で向き合います!

分園 (小規模)



土とともに、子どもの成長を!

炊事場



ビタミン愛たっぷりのご飯、作るまね!

事務所と 専門職



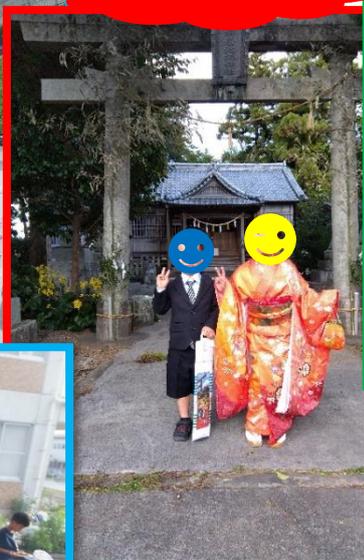
皆様からのご寄付、お待ちしております!

昨 年 度 の 思 い 出

夏 休 み



七 五 三



ク リ ス マ ス 会
出 し 物



節 分



新 1 年 生 の 抱 負

小 学 生

- ・さんすうプリントをがんばる!
- ・消防車になりたい! (消防士のことかな?)
- ・ア十と雪の、ア十になりたい!

中 学 生

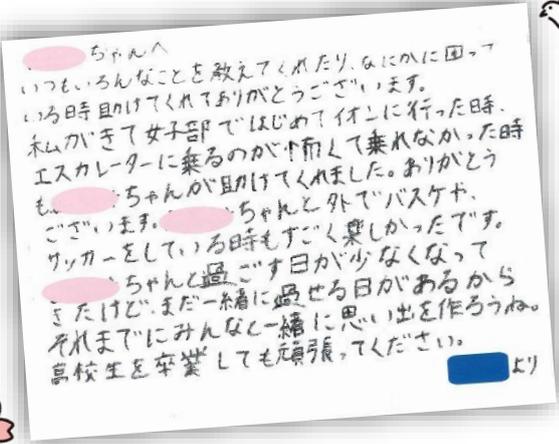
- ・部活と勉強を両立してがんばりたい!
- ・授業中はゲームのことは考えない! (お願いします)

高 校 生

- ・勉強とアルバイトをとにかく一生懸命する!
- ・マジJK! (どういうこと!?)

門出

昨年3月、1名の女子高校生が門出を迎えました。
これまでのみなさまの温かいご支援のおかげで、
立派に成長しました。心よりお礼申し上げます。



博愛園の人気メニュー

グラタン・ハムカツ

材料 グラタン用マカロニ
ベーコン、鶏モモ、玉ねぎ
とろけるチーズ、パセリ
ハム(少し厚めに)



発行にあたってのごあいさつ

みなさま、いつも暖かいご支援をいただき誠にありがとうございます。

私たちの園では、多くの子どもたちが安心して穏やかに暮らせる環境づくりに努めています。

そして、この度、園の広報誌を発刊することとなりました。この広報誌は、子どもたちの様子や私たちの取り組みを多くの方に知っていただくものです。

子どもたちが心身ともに健やかに成長し、社会で自立していくためには、地域や関係の皆様方のご理解とご支援が不可欠です。この広報誌を通じて、私たちの課題ならびに子どもたちの笑顔や成長に触れていただき、ご支援いただければ幸いです。

今後も皆様方とともに、子どもたちの未来につながる支援を進めてまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

園長 田村 桂造

編集後記

日頃より、当施設の子供達に心を寄せ、変わらぬご支援・ご配慮をいただき、心から感謝を申し上げます。

皆さまに、当施設の子供達の様子をお伝えし、少しでも身近に感じていただけるよう、なるべく多くの写真を掲載して、見やすい編集を心がけました。いかがだったでしょうか。

なにぶん素人の編集ですので、至らぬ点ばかりだと思いますが、温かい目でご覧になっていただければ幸いです。何かご意見等ございましたら、遠慮なくお寄せください。

編集委員 柴野・豊岡
広瀬・木田

博愛園のホームページのご案内

下記QRコードからアクセスできます。

リニューアルしたばかりですので、是非ともご覧になってください！

